

2020年
安全報告書



大山観光電鉄株式会社

目 次

- 1 経営責任者からのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 安全基本方針等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - 【1】 当社の安全基本方針
 - 【2】 当社の安全行動規範
- 3 安全管理体制と方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～4
 - 【1】 安全管理体制
 - 【2】 安全管理方法
 - 【3】 経営責任者および安全統括管理者の現業巡視等
 - 【4】 従業員との対話
- 4 安全目標と安全重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～5
 - 【1】 安全目標
 - 【2】 安全重点施策
- 5 事故等の状況と再発防止の取り組み・・・・・・・・・・・・ 6
 - 【1】 鉄道運転事故等
 - 【2】 災害（地震や暴風雨、豪雪など）
 - 【3】 輸送障害（30分以上の遅延や運休）
 - 【4】 インシデント（事故の兆候）
- 6 行政指導等に対する措置の状況・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 7 安全確保のための取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6～7
 - 【1】 異常時総合訓練
 - 【2】 社員の教育・訓練
- 8 お客さま等とのコミュニケーション・・・・・・・・・・・・・・ 7～8
 - 【1】 関係機関との協働
 - 【2】 お客さまの安全確保
 - 【3】 お客さま等からのご意見・ご要望
 - 【4】 その他

1 経営責任者からのメッセージ

「2020年安全報告書」の公表にあたり

平素より、大山ケーブルカーをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。この「安全報告書」は、鉄道事業法第19条の4項に基づき、安全輸送に対する当社の取り組みについてご報告するものです。

当社は、小田急グループの『お客さまの【かけがえのない時間】と【ゆたかな暮らし】の実現に貢献します』というグループ経営理念、および当社の『大山それは“出会い”の山“ふたたび廻り会える喜びをあなたに”それが私たちの願いです』という社是に基づき、輸送の安全を第一とし、大山へお越しのお客さまに多くの「上質と感動」をお届けすることを心がけております。また、企業の社会的責任を果たすために、「法令遵守」をはじめとするコンプライアンスの観点で、日々の業務に関して基本に忠実に、ルールを守り誠実に行動することを徹底し、取り組んでおります。

当社では2014年から2017年にかけて、橋梁や土留擁壁の補強、全線のレール・枕木の交換および電気設備の改修工事など、大規模な設備更新工事を実施するとともに、2015年には50年ぶりにケーブルカーの車体を更新いたしました。その後も、自然災害リスクへの対応を含む安全関連の設備投資を継続して実施し、最近では新型コロナウイルス感染症対策も行うことで、従業員一丸となって安全で安心な運行に取り組んでおります。

結びに、この「2020年安全報告書」をご一読いただき、当社の【安全への取り組み】について、皆さまの率直なご意見、ご助言などを賜りますようお願い申し上げます。

2020年9月

大山観光電鉄株式会社
取締役社長 金子 茂浩



2 安全基本方針等

【1】当社の安全基本方針

- (1) 輸送の使命は安全輸送であるとの認識に立ち、全ての事業に優先する
- (2) 施設・車両等の整備は、万端怠りなく実施し、安全の確保に努める

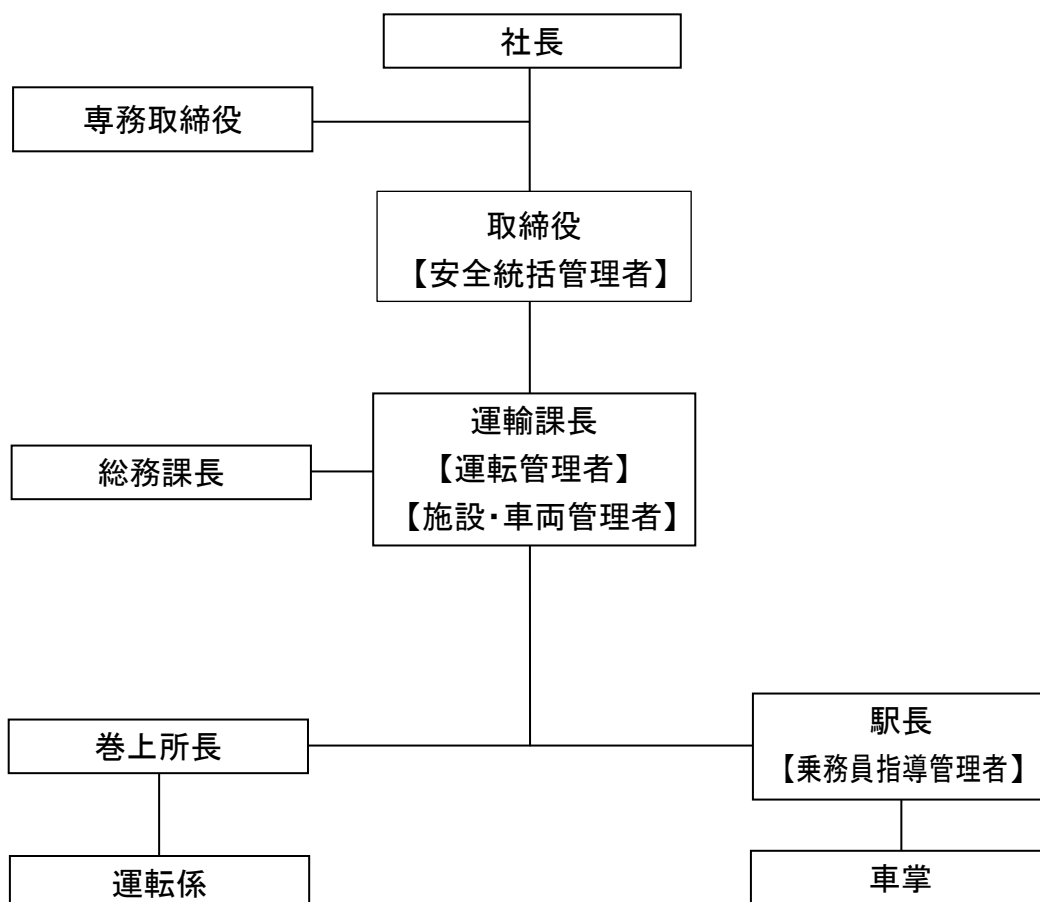
【2】当社の安全行動規範

- (1) 輸送の安全に関する状況については、常に把握し理解するよう努める
- (2) 情報は透明性を確保し、漏れなく迅速、正確に伝える
- (3) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する

3 安全管理体制と方法

【1】安全管理体制

当社は、以下の安全管理体制の下、各々の役割に応じた機能を発揮することでお客さまの輸送の安全を確保いたしております。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
取締役 【安全統括管理者】	鉄道施設、車両、運転取扱いの安全性および相互の部門間の整合性を確保するとともに、安全確保を最優先し輸送業務の実施および各管理部門を統括管理いたします。
運輸課長 【運転管理者】 【施設および車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運行計画の設定および変更、乗務員の運用、列車の運行の管理、運転係および乗務員の育成ならびに資質の保持その他運転に関する業務を管理するほか、施設および車両の維持管理に関する事項を統括いたします。
駅 長 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、駅務・車掌の資質の維持に関する事項を管理いたします。
巻上所長	運転管理者の指揮の下、運転の資質、ならびに施設・車両の維持に関する事項を管理いたします。

【2】安全管理方法

(1) 安全マネジメント体制

安全管理規程において、社長を最高責任者とし、安全確保に関する業務を統括する「安全統括管理者」を中心に、月1回安全マネジメント会議を開催し、監督官庁よりの情報発出はもとより安全輸送に関わる事項の審議取りまとめから対策を講ずるまで展開を図ってまいりました。

輸送障害等の対応については、安全マネジメント会議において多面的な分析と対策の協議を行うなど全社一体の取り組みを実施し、その成果が着実に全社員まで浸透するよう安全管理に反映させてまいりました。

(2) 安全文化の醸成

安全マネジメント体制の確立のため、ヒヤリハット情報の収集のための仕組みを整備し、ヒヤリハットの重要性を再認識した安全文化を醸成する指導と展開に取り組んでまいりました。

その結果、ヒヤリハットの報告件数が徐々に増加し、報告することの重要性・必要性が社内に浸透してきています。

【3】経営責任者および安全統括管理者の現業巡視等

経営責任者である社長および安全統括管理者は、定例的に現業巡視はもとより年度当初や安全総点検時等に、安全に関するメッセージを発信し、全社員までの浸透活動を行っております。また、事故等の発生の際は、安全統括管理者が現場での陣頭指揮を執っております。

【4】従業員との対話

企業の果たすべき社会的責任を履行するため、コンプライアンスに関する社内教育を実施するとともに、経営責任者の現業巡視等の際に、コンプライアンスに関するトップメッセージを発信しています。

4 安全目標と安全重点施策

【1】安全目標

2019年度の安全目標は【 速度超過による障害及び労働災害「0（ゼロ）」 】とし、あらゆる安全輸送に関わる“人”の潜在要因を抽出し、積極的に改善策に着手して運転事故・輸送障害・労働災害のゼロを達成するよう、この一年間取り組んでまいりました。

【2】安全重点施策

(1) 2019年度の実績

総額約18百万円を投資し、主に下記の工事等を実施いたしました。

① 各駅ホーム調査および補修工事

ホームの現況調査を実施した結果に基づき、阿夫利神社駅のホーム基礎コンクリートの洗堀箇所を補修しました。



施工前



施工後

② 落石防護金網設置工事

追分隧道上空の斜面に、新たに落石防護金網を設置しました。



施工前



施工後

③ 沿線樹木伐採工事

台風発生時等の倒木による運行支障リスクの軽減を図るため、線路に近接する斜面上の樹木を伐採しました。



施工前



施工後

④ 車両台車枠磁粉探傷

車両台車枠の健全性を確認するため、探傷検査を実施しました。検査の結果、運行に支障を及ぼす致命的な欠陥はなく、発見された軽微な亀裂は溶接により補修しました。



探傷部位の磁化



探傷器による探傷

(2) 2020年度の計画

総額約24百万円を投資し、主に下記の工事等を実施いたします。

- ① トンネル特別全般検査
- ② 落石防護金網補強工事
- ③ 誘導滑車製作
- ④ 索条（ロープ）切詰工事
- ⑤ 変電設備（遮断器）更新工事

5 事故等の状況と再発防止の取り組み

【1】鉄道運転事故等

2019年度、鉄道運転事故等の発生は、0件でした。

【2】災害（地震や暴風雨、豪雪など）

2019年度、自然災害に伴う事故等の発生は、0件でした。

【3】輸送障害（30分以上の遅延や運休）

降雨量が規制値を超えたため遅延1件（最大10分）および運転見合せ3件（計40本の運休）

【4】インシデント（事故の兆候）

2019年度、インシデントの発生は、0件でした。

6 行政指導等に対する措置の状況

2019年度、監督官庁である国土交通省からの行政指導はありませんでした。

7 安全確保のための取り組み

【1】異常時総合訓練

ラグビーワールドカップやオリンピック、パラリンピック等の大型イベント期間中の鉄道テロや事故発生時の対応力を向上させるため、ケーブルカー走行中に、不審者による列車妨害に起因する事故が発生したことを想定した異常時総合訓練を実施いたしました。

異常時の連絡通報、避難誘導、救護処置等の訓練を行うとともに、神奈川県警本部、伊勢原警察署による犯人制圧や不審物処理の訓練を実施しました。

今後も、訓練を重ねて異常時の迅速な対応と復旧など、質の向上を図ってまいります。



異常時総合訓練

【2】社員の教育・訓練

(1) 社内教育

- ① 事故処置訓練 地震発生時、停電発生時の取扱い等
 - ② ヒヤリハット情報の収集・活用法（リスク管理）
 - ③ 運転教育、車掌教育
- その他、年間教育訓練計画に基づき実施

(2) 社外研修

- ① 日本ケーブル株式会社の技術研修 電気設備取扱研修
- ② 小田急グループ研修 指導者研修ほか

(3) 教育の主たる実績と反映

① 社内教育

ヒューマンエラー防止と異常時を想定した各種訓練を実施してまいりました。

ヒューマンエラー防止に繋がるヒヤリハットの収集を積極的に行い、その結果、報告件数は2018年度の10件から、2019年度には22件に増加して、報告することの重要性・必要性が社内に浸透し、迅速に防止策を策定できるようになりました。

また、各種訓練は、迅速な異常時対応と復旧を主眼に実施し、安全かつ迅速に復旧できるよう、従業員一丸となって研鑽に努めてまいりました。

② 社外研修

ケーブルカーの電気設備の技術研修に参加し、技術力向上を図りました。

また、小田急グループ全体で実施している監督者研修等に参加し、その研修内容は、あらためて社内教育で従業員へ周知、反映いたしました。

今年度も、種々の研修を計画、受講して一層の安全マネジメントの充実へと反映させてまいります。

8 お客さま等とのコミュニケーション

【1】関係機関との協働

当社は、大山へお越しいただくお客さまに楽しんでいただき、癒しのひとときをお過ごしになられますよう万全な運行体制で臨んでおります。伊勢原市消防本部から救急救助活動の協力要請があった場合には、【救急救助活動の連携に関する覚書】に基づき、ケーブルカーの支援運行を行っております。

【2】お客さまの安全確保

お客さまの階段歩行時や駆け込み乗車の注意喚起を実施するなど、ホーム上の安全確保に努めてまいりました。

また、新型コロナウイルスへの対応については、社員のマスク着用、駅窓

口への消毒液設置など、感染拡大防止を図るための各種取り組みを行っております。

今年度も、お客さまによる事故の未然防止と新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るよう努めてまいります。

【3】お客さま等からのご意見・ご要望

関係機関との連携を図り、大山へお越しいただくお客さま等からのご意見・ご要望を収集し、社内で共有のうえ対応しております。

【4】その他

本報告書に関わるご意見、ご感想やご要望など下記の連絡先にお寄せください。

大山観光電鉄株式会社

(本社) 電話：0463-95-2135 FAX：0463-95-2482

(平日 9：00～12：00、13：00～17：30)

(大山ケーブル駅) 電話/FAX：0463-95-2040

(平日 9：00～16：30 土休日 9：00～17：00)

住所：〒259-1107 神奈川県伊勢原市大山 6 6 7